

今週のお祈り

聖霊降臨後第26主日(特定28)特禱

主よ、どうか主の民の心を奮い立たせてください。わたしたちが喜びをもってみ業にあずかり、その深い恵みによって、み助けを受けることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 225

発行日
2024年
11月17日

早いもので今年もあとひと月半。教会の暦ではもう少し早く、今年12/1(日)から新しい1年が始まります。この1年の豊かな恵みを感謝しつつ、イエスさまのお誕生をお祝いする聖劇を練習しています♪



今週の聖書 マルコによる福音書 13:14-23

14 「荒廃をもたらず憎むべきものが、立つてはならない所に立つのを見たらー読者は悟れー、その時、ユダヤにいる人々は山に逃げなさい。15 屋上にいる者は下に降りてはならない。家にある物を取り出そうとして中に入ってはならない。16 畑にいる者は、上着を取り戻してはならない。17 それらの日には、身重の女と乳飲み子を持つ

聖書からのメッセージ

執事 高柳 章江

教会の暦はイエスさまの誕生を待つことから始まり、たいてい11月の終わりごろに1年が終わります。今日の福音書も1年の締めくくりを意識して、イエスさまがもう一度この世にあらわれるすぐ前のこと、世の終わりのことが書かれている箇所が選ばれています。世の中は大混乱です。ニセの情報かとびかったり、最初で最後の大きな苦しみに襲われたり。そのとき、私たちは悲しんで、苦しんで、希望をなくしてしまうかもしれません。けれどそのようなときでも、私たちはイエスさまを信じます。なぜなら神さまは私たちをとて愛してくださっているし、イエスさまは神さまの愛そのものだからです。世の終わりがいつなのかは私たちにわかりませんが、どのような状況になっても、そのことは忘れないでください。

女に災いがある。18 このことが冬に起こらないように、祈りなさい。19 それらの日には、神が天地を造られた創造の初めから今までなく、今後とも決してないほどの苦難が来るからである。20 主がその期間を縮めてくださらなければ、誰一人救われぬ。しかし、主はご自分のものとして選ばれた人たちのために、その期間を縮めてくださったのである。21 その時、『見よ、ここにメシアがいる』『見よ、あそこだ』と言う者がいても、信じてはならない。22 偽メシアや偽預言者が現れて、しるしや不思議な業を行い、できれば、選ばれた人たちを惑わそうとするからである。23 だから、気をつけていなさい。一切のことを、前もって言うておく。』